

開催日時：2002 年 11 月 25 日（月） 18：30～21：10

場 所：ぱ・る・るプラザ京都 6 階会議室 4

参加者数：委員 8 名

（提言作業部会メンバーとして、4-6 ダムのあり方の執筆担当である池淵委員、今本委員が、素案 021113 版の修正を検討するに当たり、ダム WG メンバーにも呼びかけて検討会が開催されました）

1 検討内容

提言素案の「4-6. ダムのあり方」の記述について、ダムWGの委員による議論が行われた。

①「ダムはできるだけ避けよう」の表現について

- ・ ダムに対する基本スタンス（抑制する）を確認後、そのとらえ方として、「原則として採用しない」（淀川部会）、「原則として抑制する」、「極力抑制する」、「できるだけ抑制する」、「原則として実施しない」等の幅広さがあることを議論。その結果、“肯定形の記述を使うのが望ましい”、“ダムを完全に排除するものとの誤解を招かない表現”などの観点から、現時点では「原則として抑制する」との記述表現をすることとなった。

②「計画中・工事中のダム」について

- ・ 計画中・工事中のダムに関しては、「河川整備計画」として流域委員会に諮問されるため、その段階で委員会としての判断を下す予定である。また、今後 30 年間の方針についての提言でもあるため、記述することによって誤解を招く可能性もあるため、素案では「ダムのあり方」についての流域委員会としての見解を示すことに留め、計画中・工事中のダムに関しては、記述しないこととした。

③流域住民・NPO・NGOについて

- ・ 流域住民に関しては、「流域住民」とすると範囲が流域内に限定される可能性があるため、「関係住民」と記述することにした。ただし、「関係住民」という表現であっても河川法の解釈では地域が限定されてしまう恐れがあるとの指摘があったため、NPO・NGOを含めるという案、「4-7 住民参加」の部分の趣旨を適用する案、関係住民（住民団体・地域組織を含む）とする案、NPO・NGOと書くとな法人格を有した団体のみを対象とするか否かという問題があるため法律の専門家に任せるという案、などが検討された結果、「関係住民（住民団体・地域組織を含む）」という表現をとることとなった。

④ダムを計画するにあたっての情報公開・説明責任に関する記述について

- ・ 「自然環境の配慮に関する記述がほしい」との指摘があったため、「自然環境への影響・改善策」と改めた。
- ・ 「自然環境への負荷を考慮した経済性」については、“環境への負荷”という言葉が“経済性”という言葉との親和性が薄いため、「自然環境の価値を考慮した経済性」と改めた。

⑤提言の他の部分との表現の統一、日本語としての正しさ等に関して

- ・ 細かい字句の修正は、提言作業部会に一任する。また、法律面などで表現として適切でない場合には、変更する可能性がある。

2 決定事項

検討の結果、別紙の文章を修正案として提言作業部会に提出することとなった。

以上

※このお知らせは委員の皆様へ主な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。

(別紙)

4－6 ダムのあり方

淀川水系では、治水・利水・発電等を目的として多くのダムが建設され、これらが生活の安全・安心の確保や産業・経済の発展に貢献してきている。しかし、ダムは、河川の水質や水温に影響を及ぼすほか、魚介類や土砂等の移動の連続性を遮断する、取水口・放流口間の河道流量を減少させる、安定的な放流操作により流水の攪乱機能を喪失するなどにより、河川の生態系と生物多様性に重大な悪影響を及ぼしている。したがって、ダムの建設については次の取扱いとする。

ダム建設は自然環境に及ぼす影響が大きいため原則として抑制するものとし、考えうるすべての実行可能な代替案の検討のもとで、ダム以外に実行可能で有効な方法がないということが客観的に認められかつ関係住民（住民団体・地域組織を含む）の合意が得られた場合にかぎり実施するものとする。地球温暖化による気候変化や社会情勢の変化などの不確定要素に対しては順応的に対応する。堰についても同様の取扱いとする。

ダム建設を計画する者は計画案策定の早い段階から少なくとも次の事項について徹底した情報公開と説明責任を果たさなければならない。

- ・ダムの必要性と建設予定地点の選定理由
- ・各種代替案の有効性の比較
- ・自然環境への影響・改善策
- ・自然環境の価値を考慮した経済性
- ・関係住民の判断に必要な事項

既設のダム・堰が機能を低下・喪失した場合あるいは自然環境に重大な影響を与えた場合、ダム管理者は撤去から存続にいたる幅広い検討を行い、存続させるにはダム機能の回復あるいは自然環境への影響の軽減をはかるものとする。